

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 おやこボードゲームひろば

団体名 北名古屋ボードゲーム交流会「るどふい〜る」

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	○	公共施設掲示板、自治会掲示板、広報などに掲示。イベント出展時などでも積極的にチラシを配布した。しかし、まだまだ広報が足りないと感じる。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	多くの親子にボードゲームを体験してもらった。参加する親子からはボードゲームを購入したことを聞かされており、親子のコミュニケーション手段を提供できた。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	◎	何度も参加してくれている親子が他の親子にボードゲームを説明する姿などが見られた。参加人数の増加は感じるが、もっと多くの方に参加して貰いたい。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	予定通りの頻度で事業を開催することができた。初の事業だったので必要な予算区分が分からず、実際には使用しなかった区分もあった。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	△	現状会員からスタッフを募っているが、予定が合わなく人が足りない日もあり、知人からボランティアを募った。会員数を増やし、安定した人員の用意をしていきたい。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	△	親子にコミュニケーション手段としてのボードゲームの紹介や遊び場の提供はできたと感じるが、波及効果を感じるほどの成果は達成できていない。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	該当事業自体は他団体と協働していないが、イベントへの出展や出張体験の協働事業を行い、チラシを配るなど広報活動を行えた。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	ボードゲームに習熟したスタッフにより適切なゲームの選定や説明を行うことができた。スタッフの持ち寄りによって費用をかけずに数多くのボードゲームを用意できている。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	△	会員からスタッフを募り持ち回りで運営を行っているが、人が足りず知人にボランティアを頼むことがあった。全く参加できない会員もいて、一部の会員の負担が大きい。
	・自己資金の確保に努めていますか	△	資金面についての努力はあまり行っていない。お金のかからない広報手段や無料で出展させて貰えるイベントなどを探している。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	チラシの印刷など安い所を探し、当初よりもクオリティや値段を向上させている。飲食物の提供は当初考えたが、リスク面も考えて取りやめ、飲食代を浮かせることになった。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	多くの親子にボードゲームを紹介でき、親子のコミュニケーションに取り入れてもらうことができた。まだまだ知ってもらいたい対象は多く、継続していく。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない